



2018年2月号

学長室だより

現在、政府は男女共同参画社会の実現に向けた男女共同参画推進のポジティブアクションプランとして、社会のあらゆる分野における指導的立場の女性比率を2020年までに、30%程度とすることを働きかけています。

本学では、平成25年の男女共同参画推進室の設置以降、文部科学省事業の採択により、「まゆだまプラン」の実行や、平成28年度11月には、群馬県内の13高等教育機関の協力のもと「ぐんまダイバーシティ推進地域ネットワーク」の立ち上げ等、着実に実績を積んできました。

このような実績が評価され、平成29年7月に、文部科学省科学技術人材育成費補助事業「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ事業（特色型）」に採択されました。今後は、男女共同参画推進室の活動をさらに発展させ、女性研究者が持てる能力を発揮して、研究や運営のリーダーとして活躍できる環境の充実を目指します。性別や年齢にかかわらず研究者の可能性を追求して次世代の育成を担い、社会へ貢献して行きたい考えです。

平成30年2月 学長 平塚浩士



自動運転車に乗る平塚学長
2/16三井住友銀行との産学連携協定の締結

目次

学長あいさつ 1

特集「男女共同参画推進室まゆだま
プランからまゆだまプランアドバンストへ」
..... 1-3

Media Pick-Up 4

行事予定 4

特集

男女共同参画推進室 まゆだまプランからまゆだまプランアドバンストへ ～女性研究者がつながり紡ぐイノベーションと新たな展開～

1. 「まゆだまプラン」の取組の成果から

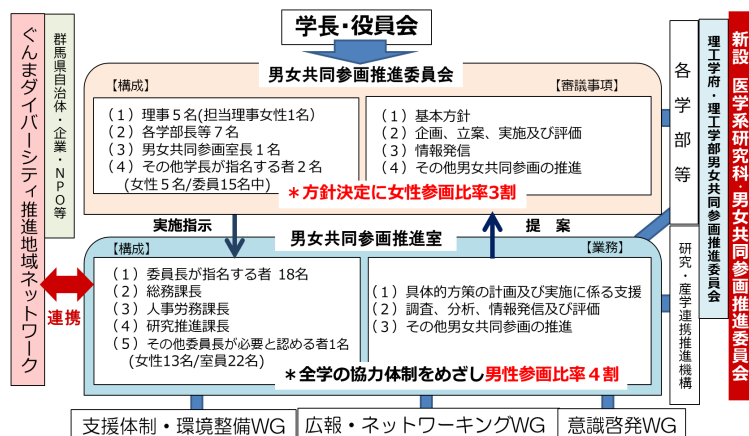
群馬大学は、平成29年度文部科学省科学技術人材育成費補助事業「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ事業（特色型）」に選定されました。これから6年間、中長期の視点に立った着実な女性研究者の採用と一層の研究環境整備を進めていきます。

本学は、全学の取組として『国立大学法人群馬大学男女共同参画推進基本計画（H25年度）』を策定し、「男女共同参画推進室」を設置しました。さらに、文部科学省「女性研究者研究活動支援事業（一般型）」の採択を受け、3年間「蘭玉（まゆだま）プラン」に取組み、女性研究者の在籍比率17%の達成や女性限定公募を活用した理工学府の上位職の採用、女性の学長特命担当理事の任命、研究活動支援による豊かな研究成果の創出、荒牧、昭和、桐生の3キャンパスの「まゆだま広場」を活用した両立支援アドバイザーの活躍、群馬県内の高等教育機関の連携等の地道な活動が高い評価を受けました。

2. 「まゆだまの10年」として

群馬大学は、平成29年度文部科学省科学技術人材育成費補助事業「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ事業（特色型）」に選定されました。これから6年間、中長期の視点に立った着実な女性研究者の採用と一層の研究環境整備を進めていきます。

本学は、全学の取組として『国立大学法人群馬大学男女共同参画推進基本計画（H25年度）』を策定し、『男女共同参画推進室』を設置しました。さらに、文部科学省「女性研究者研究活動支援事業（一般型）」の採択を受け、3年間「繭玉（まゆだま）プラン」に取組み、女性研究者の在籍比率17%の達成や女性限定公募を活用した理工学府の上位職の採用、女性の学長特命担当理事の任命、研究活動支援による豊かな研究成果の創出、荒牧、昭和、桐生の3キャンパスの「まゆだま広場」を活用した両立支援アドバイザーの活躍、群馬県内の高等教育機関の連携等の地道な活動が高い評価を受けました。



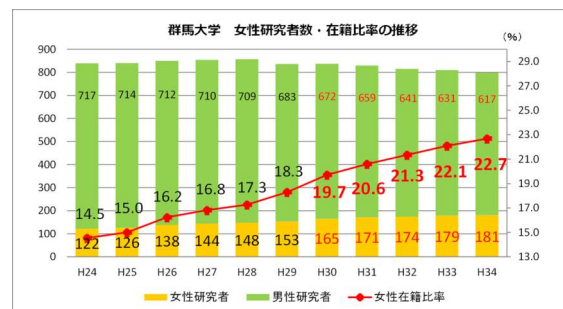
実施体制図（画像をクリック）

3. 「まゆだまプラン-アドバンスト」の新たな展開

「まゆだまプラン-アドバンスト」では、3つの目標を掲げて取組を開始しています。

目標1 優秀な女性研究者の採用と上位職増加の取組み

- 平成34年度までの採用計画を各学部等が了承し、計画的に実施（グラフ参照）
- 「まゆだま加速プラン」として女性限定公募による准教授以上の採用を進め、スタートアップ経費を配分、魅力的な研究環境を整えて上位職へのキャリアアップを支援
- 理工学府は年平均1名以上を採用予定（H29年度 女性の准教授を採用が実現）
- 大学院進学を視野にいたった女子大学生の育成
- 医学系研究科男女共同参画推進委員会の新設、3月6日にキックオフ講演会を予定



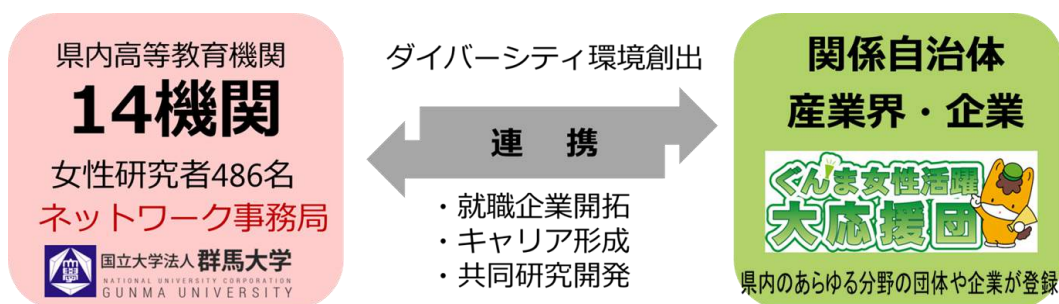
グラフ

目標2 学内外のネットワークの構築とイノベーションの創出

- 平成29年11月17日、先行機関である岩手大学・長崎大学の担当者を招いてのキックオフシンポジウムを開催
- 「ぐんまダイバーシティ推進地域ネットワーク」で地域活性化
- 研究リーダーになるための研究力アップ講座開催(H29年度各キャンパス2回実施)
- 学内の女性研究者が共同研究を立ち上げる「共同研究推進助成」を新設
 - ・プロジェクトリーダー促進助成【A型】 50万円×3件
 - ・研究会企画・提案助成【B型】 10万円×5件



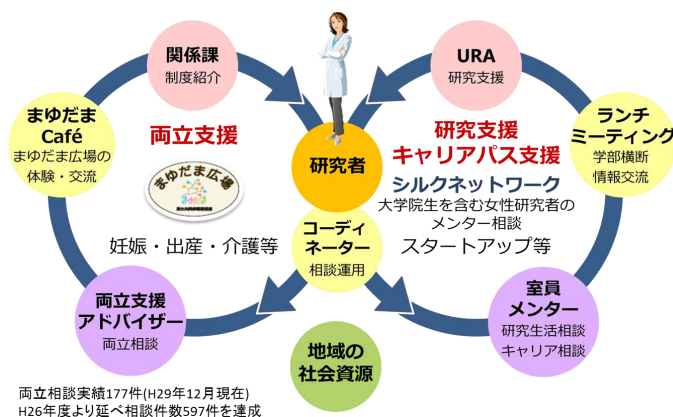
11/27開催キックオフシンポジウム



ぐんまダイバーシティ推進地域ネットワーク (画像をクリック)

目標3 魅力ある研究環境整備と継続させるための好循環の構築

- ライフイベントを抱えた研究者に、継続可能な研究環境を整備
 - ・研究活動支援の継続 → H30年度28名に配置決定
 - ・近隣のNPO法人と連携→「放課後児童クラブ」の充実 (H29年度より実施)
 - ・ベビーシッター費用補助(H29年度より自主経費で実施)
 - ・学会等を含め休日出勤のための託児経費の補助拡大 (H30年度より実施予定)
- 研究とキャリアパスを支える 複合的な相談体制を構築 (定着した両立支援に研究とキャリアパス支援を強化)



両立相談実績177件(H29年12月現在)
H26年度より延べ相談件数597件を達成



Media Pick-Up

2月に新聞やTVで取り上げられた主なニュースを紹介します。（記事掲載順）

- [医療関係] 脳死臓器提供、腎臓を医学部附属病院で移植（2/2上毛）
- [イベント] 2/5開催中央図書館「上州風クロニクル1999-2010」ギャラリートーク（2/6上毛）
- [イベント] 食健康科学教育研究センターによる大和芋産地視察及び意見交換（2/6日本農業新聞）
- [イベント] グローカルハタラクラスぐんま 留学生と企業の交流会（2/8上毛）
- [イベント] サイエンスドクター事業 事業を拡大（2/9上毛）
- [医療関係] HIV・エイズ啓発研修会 医学部附属病院柳沢邦雄助教が講演（2/13上毛）
- [医療関係] 神奈川がんセンターに群大職員を派遣（2/16上毛）
- [研究] 大手銀行との次世代モビリティ社会実現に向けた産学連携協定の締結について（2/17東京、朝日、産経、日経、上毛、毎日、日刊工業）
- [教育] 群馬大学教育学部美術専攻卒業制作展（2/17毎日、上毛）
- [研究] 群馬大、自動運転車の開発最前線（2/22上毛）
- [イベント] 2/21～開催中央図書館ギャラリー展示「留学生が描く日本画」（2/27上毛）



写真上から
 2/5 ギャラリートーク「上州風クロニクル1999-2010」
 2/16 第1回計算社会科学とその周辺セミナー
 2/16 三井住友銀行との産学連携協定の締結
 2/23 赤城の恵ブランド情報交換会

2月の行事

- 3日 女子中高生プログラムーチョコ実験教室
- 4日 JST女子中高生の理系進路選択支援プログラム全体報告会（理工）
- 5日 ギャラリートーク「上州風クロニクル1999-2010」（中央図書館）
- 15日 医療監視（昭和）
- 16日 三井住友銀行との産学連携協定の締結（次世代モビリティ）
第1回計算社会科学とその周辺セミナー（社情）
- 23日 前橋市主催・赤城の恵ブランド情報交換会（食健康科学教育研究センター）
- 25日 前期日程入試
- 26日 私費外国人留学生入試

3月の予定

- 3日 ぐんま天文台入門講座「天文ABC」（理工）
- 6日 GFL研究発表会（理工）
中央図書館講演「あたらしい地方」を編集し、発信するソーシャルな視点」
- 8日 医理工プロジェクト成果報告会
- 12日 後期日程入試
- 23日 平成29年度学位授与式

4月の予定

- 5日 平成30年度入学式
- 8日 桜を観る会（太田）
- 14日 サイエンスカフェin桐生
- 15日 じだれ桜を観る会（桐生）
WHOCC国際シンポジウム

【次号予告】

2018年2月号（3月下旬発行予定）の特集テーマは、「**医理工生命医科学融合医療イノベーションプロジェクト**」（仮題）です。

【お知らせ】

群馬大学公式facebookを発信中です。群馬大学の“今”を発信していますので、ぜひご覧ください。行事の案内やプログラム報告、メディア出演予定など、教職員の皆様からの情報提供をお待ちしています。

【お願い】

イベント、研究成果や事業採択などで、全学ホームページ掲載や報道機関を通じた情報提供、報道機関からの取材を受ける時は、**情報連絡書**にて、**情報提供をお願いします**。情報連絡書運用方法 ⇒ 学内ポータルサイト



大学基金レポート

寄附金額 **79,741,352 円**
 （2016年10月～2018年2月28日）

☆ 本学の基盤強化のため、教職員の皆様の御協力をお願いいたします。

[【寄附申込フォーム】](#)

☆ 各キャンパスの窓口収納で現金収納受付中

「学長室だより2018年2月号」
 発行元：群馬大学広報本部
 内線：7010、7011
 Email s-public@jimu.gunma-u.ac.jp
 発行日：平成30年3月7日